

長野市議会・第2回議会報告会 報告書



平成 26 年 5 月 10 日開催

I. はじめに	1
II. 議長のあいさつより	2
III. 議会報告会の概要	3
IV. 参加者アンケートの結果	4
V. 議会報告会での質疑・意見、Q & A 要旨	8
VI. 写真で振り返る	12

長野市議会 / 議会報告会実行委員会

I. はじめに

議会報告会にご参加いただきありがとうございました。

新年度予算等を審議した3月市議会定例会の委員会審査・議決状況に関する議会報告会に際し、参加された市民の皆さんからは、子育て子育て支援、財政見直し、地域いきいき運営交付金、除雪体制、請願の継続審査、公共施設白書などについてご質問をいただき、中小企業支援、区長のあり方、公共交通などについてご提言をいただきました。

参加者の皆さんのアンケート結果では、議会報告会の開催について、「良かった」が20.6%、「まあまあ良かった」49.5%と7割を超える皆さんにプラス評価をいただきました。一方、「どちらとも言えない」23.7%、「あまり良くなかった」2.1%、「良くなかった」1.0%と、必ずしも評価に値しないご意見を4分の1強の皆様からいただく結果となりました。

継続を求める意見も多くいただき、より市民に信頼され、身近な市議会となるよう、議会報告会を充実させていきたいと存じます。

また、議会報告会の内容については、「どちらとも言えない」が57.7%と過半数を超え、「わかりやすかった」が32.0%、「わかりにくかった」が4.1%の結果でした。運営や答弁を巡り、改善を求める様々なご意見も頂きました。

ポイントを絞り、わかりやすい報告内容に努める必要があります。

さらに、今回は開催日時を土曜日午後2時からと変更したところ、アンケートでは「土日昼間の開催が望ましい」が66.7%と3分の2を占め、平日夕方の13.1%を大きく上回る結果となり、一定の評価が得られたものと推察いたします。

5月の開催から既に1カ月以上経過しましたが、ここに議会報告会の報告書をまとめ、市民の皆さんに公開・報告するものです。質疑・意見については要旨を、また、それらに対する回答も要旨として「Q & A形式」でまとめさせていただきました。

当日の回答については、不十分な点多々ありますが、そのまま、まとめておりますことについて、ご理解を賜りたいと存じます。

議会報告会に関するご意見・ご要望がございましたら、議会事務局までお問い合わせください。

平成26年7月14日

長野市議会・議会報告会実行委員会

Ⅱ. 議長のあいさつより

一 開会にあたっての議長あいさつ 一

長野市議会では、かねてから議会の活性化に取り組んできました。

平成24年5月から9月までは議会基本条例検証・議会活性化検討委員会で、平成24年11月から平成25年9月までは議会活性化検討委員会において精力的に協議を重ね、これまでに、採択された請願や議員の行政視察報告書のホームページでの公開、議会傍聴時の資料の充実、委員会記録のホームページでの公開などを順次実施してきました。



これらの協議の中で、早急に実現を目指すとしたものが議会報告会であり、昨年5月に第1回の議会報告会を開催しました。

その後、皆様から頂いたご意見を参考にしながら、更に議会報告会のあり方等についての検討を経た後、運営主体となる議会報告会実行委員会を組織し、今回、第2回目の議会報告会を開催する運びとなったものであります。

本日は、長野市議会の仕組みの説明から始まり、平成26年3月定例会の概要、常任委員会及び特別委員会からの報告をすることとなっていますが、質疑及び意見の機会もありますので、忌たんのない意見等をお寄せいただければと思います。

長野市議会として、今後も市民に愛される議会、より身近な信頼される議会の実現を目指し、歩みを進めていく所存です。

一 閉会にあたっての議長まとめ 一

議会報告会にご参加いただきありがとうございました。財政推計、中小企業の支援拡大、住民自治協議会の運営資金、除雪についてなど、いろいろな質問、意見等が出されました。また、公共施設等の問題について、長野市の将来はどうか、住民サービスはどうか、というご意見等が寄せられ、非常に皆様の関心が高いと感じました。

これら本日の議会報告会の概要については、後日、取りまとめ、長野市議会のホームページに掲載させていただくとともに、市議会だよりでも報告させていただきます。

また、内容、説明資料、説明時間等についてご意見等ありましたら、アンケートに、ぜひご記入をいただければと思います。

二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨し、住民の皆様の福祉の向上及び市政の発展に寄与する所存ですので、今後とも市議会の活動にご理解をお願いいたします。

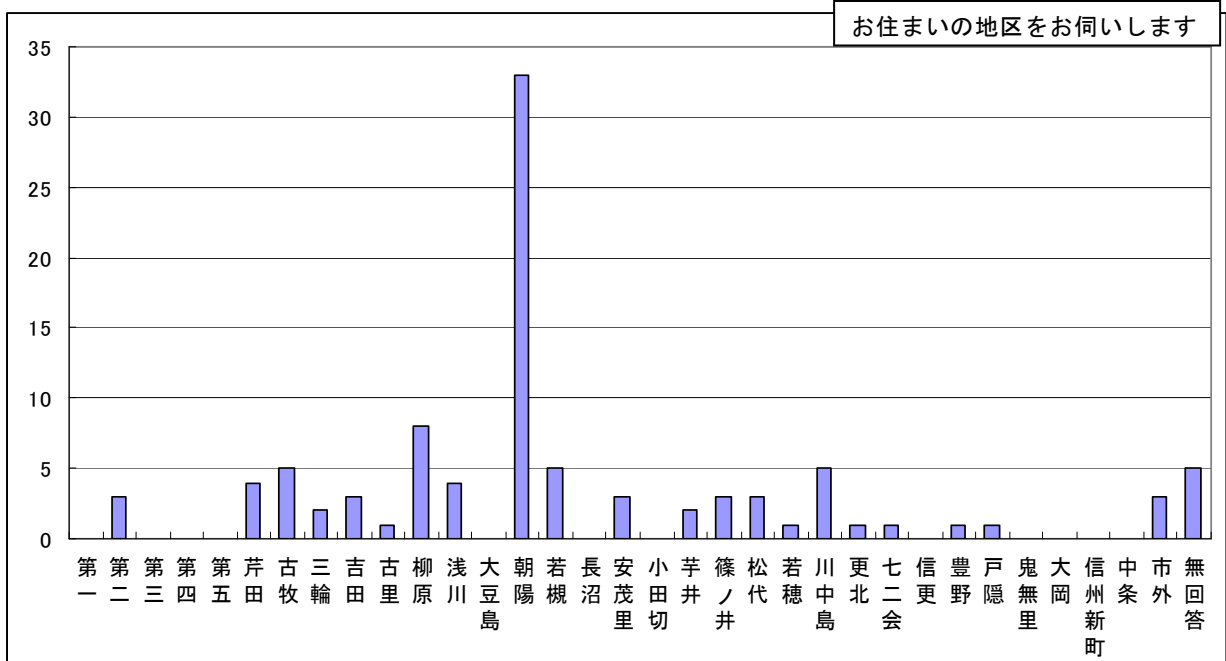
Ⅲ. 議会報告会の概要

1. 主 催 長野市議会
2. 日 時 平成26年5月10日（土）午後2時～午後4時05分
3. 場 所 長野市役所第二庁舎10階・講堂
4. 内 容
 - ①開会あいさつ…小林秀子 議会報告会実行委員会副委員長
 - ②議長あいさつ…高野正晴 議長
 - ③長野市議会の仕組みの説明…松田光平 議会報告会実行委員会委員長
 - ④平成26年3月定例会の概要報告…松田光平 議会報告会実行委員会委員長
 - ⑤4つの常任委員会の報告
 - * 3月定例会の審査結果の主な論点を報告しました。報告内容は配布資料を参照ください。
 - * コーディネーターは近藤満里 副議長及び中野清史議会運営委員会委員が務めました。
 - (1) 総務委員会報告…寺沢さゆり 委員長
 - (2) 福祉環境委員会報告…佐藤久美子 委員長
 - (3) 経済文教委員会報告…宮崎治夫 委員長
 - (4) 建設企業委員会報告…望月義寿 委員長
 - (5) 常任委員会報告に関する質疑・意見
 - ⑥4つの特別委員会の報告
 - * 昨年9月以降の調査研究事項について概要を報告しました。報告内容は配布資料を参照ください。
 - (1) 公共施設の在り方調査研究特別委員会報告…三井経光 委員長
 - (2) 子育て・子育て対策特別委員会報告…倉野立人 委員長
 - (3) 新幹線延伸対策特別委員会報告…小林義和 委員長
 - (4) 農林業振興対策特別委員会報告…山本晴信 副委員長
 - (5) 特別委員会報告に関する質疑・意見
 - ⑦閉会まとめ…高野正晴 議長
5. 参加者 110人の市民の皆様にご参加いただきました。
要約筆記を利用された方は2人、託児室を利用されたお子さんは2人でした。

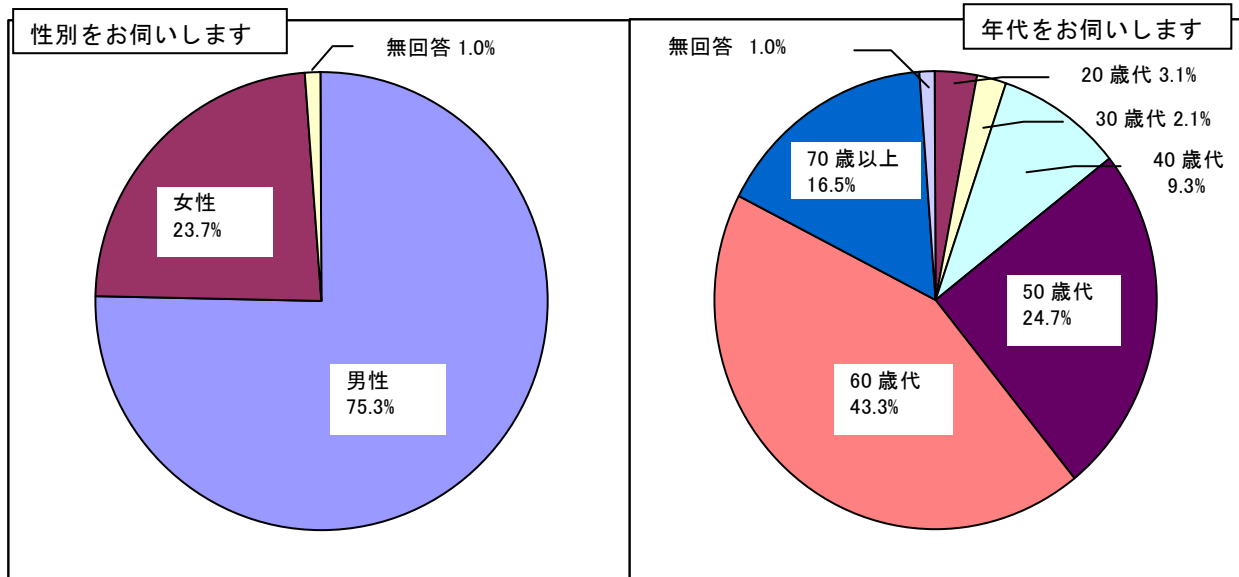
IV. 参加者アンケートの結果

● 110名の参加者のうち97名の方からアンケートにご協力いただきました（回答率88.2%）。ありがとうございました。

■お住まいの地区



■男女別・年代別



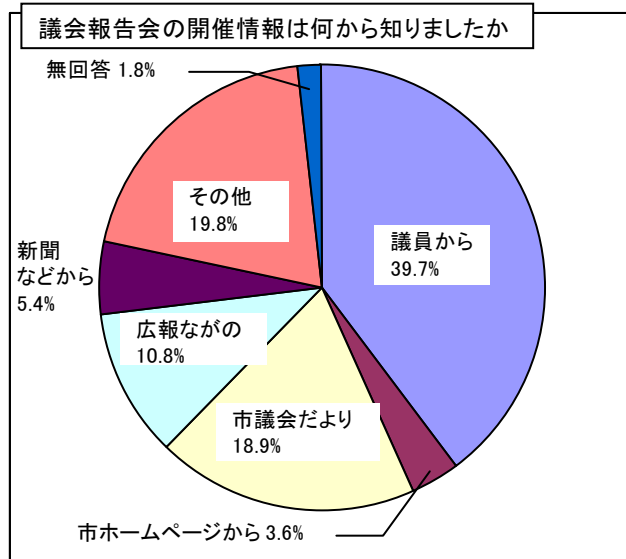
参加者は男性が約4分の3を占めました。年代別では、60歳以上が59.8%と半数以上を占める一方、20歳代・30歳代は5.2%でした。女性の参加、若い世代の参加が課題といえます。

■議会報告会の開催情報は何から知りましたか

「議員から」が39.7%で1位。「市議会だより」18.9%、「広報ながの」10.8%と続きます。

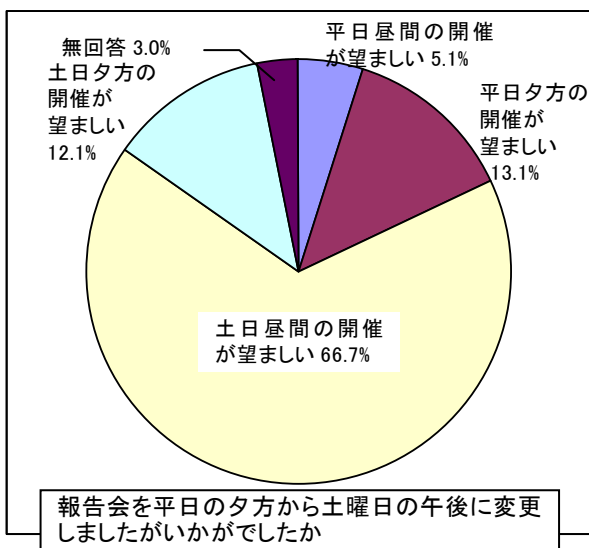
「その他」では「住民自治協議会」からが一番多く、また「区長会」などがあげられました。

「市ホームページ」は3.6%と高くありませんでした。議員の働きかけと、紙ベースでの広報の役割が高いといえます。



■報告会の時間はいかがでしたか

「普通」が77.3%を占め、ほぼ理解を得ていると考えられます。



■報告会を平日の夕方から土曜日の午後に変更しましたがいかがでしたか

「土日昼間の開催が望ましい」が66.7%と一番多く多く、続いて「平日夕方」が13.1%、「土日夕方」が12.1%という結果です。

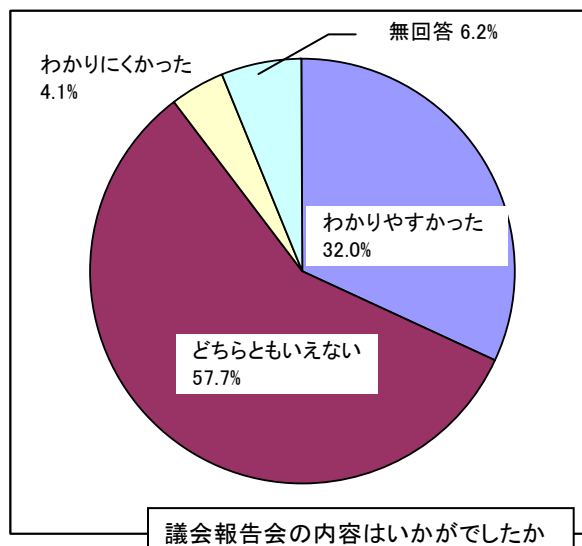
いずれにしても、市民の皆様が参加しやすい曜日や時間の設定が重要です。

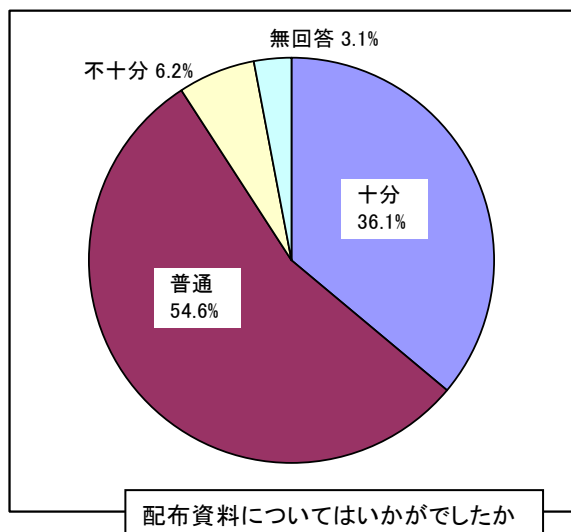
■報告会の内容はいかがでしたか

「どちらともいえない」が57.7%で半数以上に及びました。「わかりやすかった」は32.0%、「わかりにくかった」は4.1%でした。

「わかりにくかった点」として、「もう少し説明の工夫がほしい」「説明時間と説明ボリュームを検討しては」「委員長答弁が正確性にかける」「具体的な方向性が見えない」「回答が長すぎる」という意見が寄せられました。

ポイントを絞り、わかりやすい報告内容に努める必要があります。





■配布資料についてはいかがでしたか

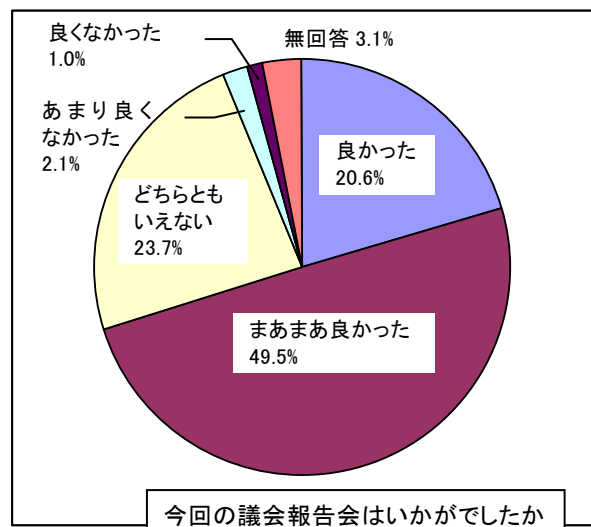
「十分」と「普通」で90.7%を占め、おおた理解されたものと受け止めます。

一方、資料を不足とする意見では、「もう少し内容を理解するのに補足の資料もほしい」「公共施設白書の概要を添付」「市の広報（予算概要）があれば」などの意見が寄せられたほか、「市議会だよりは配布済みであり必要ない」との意見もありました。

■今回の議会報告会はいかがでしたか

議会報告会の全体的な感想では、「良かった」が20.6%、「まあまあ良かった」49.5%と7割を超える皆様にプラス評価をいただくことができました。

議会報告会を開催したことについては評価をいただいたものと受け止めます。



■今後、議会報告会に望むこと、開催・運営方法等についてご意見は（自由意見）

31人、32.0%の参加者からご意見をいただきました。

《全体的》に、「今日の議会報告会はとても良かった」「今後も定期的開催を」「市民の意見が直接聞けて大変良いと思う」「各定例会の都度報告会を開いて」「参加者の意見が多く出されて良かった」など、継続を求める意見を多くいただきました。

《開催時期・時間》について、「個人的には土日昼間の開催がうれしいが、いろいろな人が参加できるように、フレキシブルな開催を望む」「年1回の報告会で、時間は2時間がいい。なお水分補給を希望する」「質問・要望の時間が少ない。全体の時間を延ばしてほしい」などのご意見をいただきました。より多くの市民の皆様が参加できるように、更に検討が必要です。

《運営方法》については、「各委員長報告は要点を絞ってわかりやすい説明を」「質問の時間を多く」「各委員会でどのような討論が交わされたのか、その代表的な主張点を教えてほしい」「市民が直接議会に参加できる手法の一つである請願などについてはその方法などの説明もあった方が良いでしょう」「年1回の報告会であれば1年分を報告すべき。インターネットでの中継も希望」など、報告の内容について検証を求める意見をいただきました。

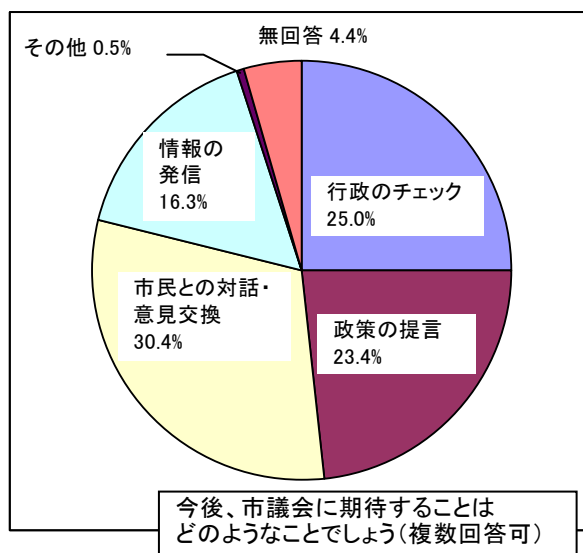
また、資料について「報告書のページの打ち方は、各面の右下なり左下にあるとわかりやすいと考える」「建設企業委員会のページのように予算額を統一した方がいい」「事前に資料を公表し、質問事項を把握することも必要」など、今後に参加となるご意見をいただきました。

《議会側の答弁・回答》については、「来年の説明会では、財政の見通しについて議論・検討した内容について報告してほしい」「説明が抽象的。もっと具体性がほしい」など、改善を提案するご意見をいただくとともに、「一部委員長の答弁は勉強不足。日常から調査・研究に励むべき」「できるだけ具体的な政策が見える報告の仕方を」「報告する議員は一人に絞らず、必要により他の議員が行うことでより深まるのでは」など、厳しいご意見も多くいただきました。反省課題です。

■今後、市議会に期待することは（複数回答可）

「市民との対話・意見交換」が30.4%、「行政のチェック」が25.0%、「政策の提言」23.4%、「情報の発信」16.3%と続きました。「その他」では「小規模なもので構わない、堅苦しくない形での住民説明会を」という意見がありました。

議会として、市民と意見交換を行い市政に反映させること、行政のチェックにもっとしっかり取り組むことが、市議会に期待される役割であるとのご意見をしっかり受け止めるとともに、議会・議員が自ら資質向上に努める責務を改めて認識したいと考えます。



■その他市政及び市議会に望むことは（自由意見）

「将来の財政状況をしっかりと見通した市政の運営を」「質問に対する回答が不十分。はっきり回答できない場合は後日何らかの方法で行うことが必要」「議会は『声なき市民の声』を拾うことに尽力すべき」「市民と議員の理解の幅をもっと詰めて」「各議員が地域住民の意見・ニーズを聞き取る場を多く設けることが必要」との厳しい意見を多くいただきました。

また、「障害者福祉サービスの情報を当事者に説明する機会を」「認定こども園は問題が多い。長野市のニーズに合った開設を」「暮らしやすい社会とは。長野市の未来が見えるように」「もっと若者の声や能力を市政に活かしては」「農産物の地産地消とボランティアガイドの増員を」「区長の位置づけや市としての処遇、また住民自治協議会の今後の方向と地域公民館への財政支援を」「NPOなどへの補助金等で支援する仕組みの継続と、地域おこし協力隊への市のビジョン・支援体制を」「中山間地域の活性化策には総合的なデザインが必要で、議会からの提案を望む」「公共交通政策の提言を更に進めて」「河川の流量調査を通じて水害対策について討議を」など、貴重な要望・提言をいただきました。

議会として受け止め、市政への反映に努めていきたいと考えます。

V. 議会報告会での質疑・意見、Q&A 要旨

●会場で出された質疑・意見、それに対する回答について、要旨をまとめ報告します。複数回にわたる質問はまとめていますのでご了承ください。

【常任委員会の報告に対する質疑・意見より】

Q 子ども・子育て支援と、子ども・子育て支援の二つの表記があり、非常に分かりづらい。表現のニュアンスの違いは何か。また、国の新制度の正式名称はどちらか。

A 福祉環境委員長…一般的には「子ども・子育て支援」で表現されるが、子ども自身の子育てということが含まれる場合には「子育て」という言い方をされる場合もある。国の制度の名称は「子ども・子育て支援新制度」である。



Q 今後 10 年間の財政見通しでは、平成 33 年度から歳入不足になると示されているが、財政の見通しが前年より厳しくなった要因・将来にわたる安定した財政運営について、予算を可決するにあたってどのような議論や検討が行われたのか。

A 総務委員長…ご指摘のとおり歳入不足が起こることについて、私どもも注視をしている。議会としてしっかりとチェック機能を働かせ、今後しっかりと議論していく。

Q 最低賃金について不採択とされたが、最低賃金の改善だけではなく、中小企業支援も重要と思うが、委員会の中で議論にならなかったのか。
また、要望として、日本の中小企業への支援というのは、外国から比べて非常に低いので、国に対し、拡充の働きかけ、議論をお願いしたい。



A 経済文教委員長…反対の理由の中には、経営者が経営を持続することがどうしても必要であるということがあり、中小企業の支援ということがその中に含まれていると考えている。要望については、内部で検討していく。

Q 地域いきいき交付金について、「地域の実情に配慮した算定方法を検討するよう要望」とあるが、どんな内容か。また、区長制度について「行政との関係による区長の適切な位置づけ」とあるが、どのような要望をされたのか。

A 総務委員長…それぞれの住民自治協議会は頑張っていた。それに対する支援として、事務局長経費とかやまざと支援金という形で追加はされたが、まだまだ不十分ということで、例えば中山間地域では面積割も含めて算定するなど、より積極的な支援を要望している。

区長については、地域から存在意識を高める対策が要望されている。そこで、市長から区長へのメッセージを出すことなど、存在意識をしっかりと持ってもらえるような対応を要望した。



A コーディネーター…区長の位置づけや交付金の充実については、これまでもたびたび議論されてきた。いずれにしても住民自治がどうしたら円滑に進むのか、そういう目線でなお一層力を入れて取り組む。

Q 継続審査となった請願の次の審査は、いつ行われるのか。また最終的に採択、不採択がどこかで必ず決められるのか。



A 議会運営委員長…順次結論が出るまで議論を続ける。請願は、各委員会に付託されているので、各委員会でそれぞれ審査していく。

Q 大雪時における除雪体制について情報発信の充実を挙げ、具体的な要望の検討もされたとあるが、情報発信の方法をどのような方向性で行っていくのか。

A 建設企業委員長…ホームページ、有線放送、防災無線など、あらゆる媒体を使い、市民に状況を正確に伝えるようにという要望が出された。あとは行政がどのように対応するかということになる。



Q

2月の大雪の際に、他の自治体と比べ、本市の災害に対する情報発信が極めて少なく、県の情報を参考にした。旅行者など、県外の人も情報を得たいという要望があると思われるが、情報発信の具体策の検討をお願いしたい。

A

建設企業委員長…長野市でもツイッターを始めた。このようなソーシャル・ネットワーキング・サービスなども利用して、しっかり皆さんに届くように具体策を委員会でも取り上げていきたい。

Q

請願の特定秘密保護法について、12月議会からの流れで否決されているが、もう少し詳しく説明をいただきたい。

A

総務委員長…12月議会では、「恣意性を排除するなど、適正な運用に資するため、検証が可能な実効性のある機関の設置を早急に検討し、適正な運用方法を確認するよう強く求める」との意見書を提出している。それに対して、今、国の動きを注視しているところであり、否決をした。

【特別委員会の報告に対する質疑・意見より】

Q

先般、長野市の20歳から39歳の女性人口が、2010年の4万3,707人から2040年には2万4,919人に減る、マイナス43%という数字が出ている。子育て・子育てではどう考えるか。

A

子育て・子育て対策特別委員長…この特別委員会の設置理由は、少子化に起因する課題について、基礎自治体としてどう考えるかということを取り組むことで、人口減少社会をどう迎え、どう乗り切るかだ。人口減少はやむを得ない事実である。そういう中で、それぞれの家庭が、多様な価値観で幸せを享受しながら社会を構成し、そして長野市で住みやすい環境を作るための研究・検討を重ねていきたい。



Q

公共施設白書について、オリンピック施設のほか、他の公共施設も含め、将来の改修・更新費用の推計について、どこでどのように議論されるのか。

A

公共施設の在り方調査研究特別委員長…公共施設白書は、昨年できたばかりで、委員会で調査・研究している段階。今後は、市民の皆様の意見を聴きながら、将来的に存続・廃止かを含め、検討していく。

**Q**

公共交通の安くて乗りやすく移動しやすい交通環境というのをつくることによって、まちなかが賑わい、善光寺と駅前だけでなく、中山間地も含めて長野市全体が賑わうような環境をぜひつくっていただきたい。

**A**

コーディネーター…公共交通の整備、しっかりと進めていただきたいというご要望をいただいた。

Q

子育て・子育て対策特別委員会のところで「ニーズの調査」とあるが、具体的にニーズをどう吸い上げていくのか。

A

子育て・子育て対策特別委員長…ニーズ調査は、今まで市町村が実施主体となっていた保育事業について、国が一元化して保育を事業として保育費を給付する制度に改めたことに起因する。調査は昨年9月に市内在住の就学前児童がいる家庭の保護者4千人を抽出して行われたもので、市民皆さんの声や、長野市の地勢、環境などを参考にし、国の制度を基本としながら、長野市の特徴が出るような保育環境をつくるために事務事業を進めている。特別委員会でも、皆さんの意見なども踏まえ、より良い保育環境の実現に取り組んでいく。



VI. 写真で振り返る



◆準備前の打ち合わせ



◆リハーサル中



◆ようこそいらっしゃいました



◆会場は満員



◆要約筆記コーナー、利用者は2人。



◆託児は2人が利用。

…ご協力ありがとうございました。